

手を握らずに親と子



令和6年3月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 31

いよいよ新入学の季節です！

いよいよ新入学の季節ですね。そんな中、新入学を迎える小学1年生や中学1年生にとって新しい環境への期待と不安はどちらが大きいですでしょうか？どちらにしてもわくわく、ドキドキが毎日続き、心身への負担は保護者が思うよりもずっと大きいです。そこで今回は小1プロブレムや中1ギャップへの対応について紹介します。

さらに、どの学年にも起こりうる登校しぶりや不登校などに対応する、登別市教育委員会の「鬼っ子広場（適応指導教室）」について紹介します。



小1プロブレム、中1ギャップとは？

<小1プロブレム>

小学校に入学してからの学校生活に適応できず、精神的に不安定な状態が続くことで起こる、授業中に座っていられなかったり、集団行動がとれない状態が続くこと

<中1ギャップ>

小学校から中学校への新しい環境での学習や生活へ移行する進学段階において、うまくなじめず、授業についていけなくなったり、人間関係で悩みが生じたり、いじめや不登校等の困難に直面すること

小1プロブレム、中1ギャップの原因は？

原因は「これ」といったもの一つではありません。

例えば、小1プロブレムの一番大きな原因は、保育園・幼稚園と小学校の違いです。進学する際に環境が大きく変わります。遊びから勉強中心になり、集団生活や自立的な活動が求められる環境への対応がうまくいかないのです。中1ギャップの原因は、まずは学習の難易度です。教科ごとに学習の進め方が違ったり、学習進度も小学校の時よりも格段に速くなります。また、評価に必要なテストのスケジュールに対応していくことが求められます。さらに、小学校とは異なる人との交流やコミュニケーションに戸惑う場合も少なくありません。



小1プロブレムも中1ギャップは、どちらも自分の周りの環境が大きく変わることが原因です。新しい人間関係の中でのストレスや、新たな学習内容に対する不安は誰にでもあることです。ただ、進学のタイミングで何でも頑張ろうとする気持ちが強い時期なので、思うようにできないことが増えてくると「自分は何をしてもだめだ」と自信をなくしがちなのです。また、このことは、進学の時ばかりでなく、どの学年でも起こりうることで、いつ起こってもおかしくないのです。

こどものために家庭でできること

入学当初は進学時にかかる様々なストレスを考慮し、お子さんに寄り添ってあげることが大切です。お子さんを見守り、お子さんにとって家庭が安心して過ごせる場になるととてもいいですね。また、お子さんのペースに合わせて物事に挑戦させ、共感的な会話を通して、自信をつけさせていきましょう。

- ① しっかりと話を聞き、共感し、励ましましょう。
- ② 励ましながら自己肯定感を高めてあげましょう。
- ③ 学習は焦らずに、一步ずつ進めましょう。

小学生には声をかけながら宿題などに一緒に取り組んであげることも大切です。



早めの気づき・対応・相談が大切です

登別市教育委員会では、学校のこと、家庭のこと、友達のことなどでお悩みの方の相談を行っています。お子さまの心身が不調になりやすい時期だからこそ、些細なことでも気になるときはご相談ください。

- 学校生活、就学や進路、発達のことなど教育上の諸問題などへの相談に応じています。
相談先：登別市教育委員会教育指導室 ☎88-1162
- いじめや登校できないなど学校適応が難しい問題に心理的視点から支援します。
相談先：各学校のスクールカウンセラー

鬼っ子広場（適応指導教室）

登校しぶりや普段と違う様子が見られる場合は、保護者のサポートだけでは不安ということもあるかもしれません。そんな時は学校の担任の先生に相談してみましょう。また、登別市には「鬼っ子広場（適応指導教室）」という児童生徒の支援の場もあります。すぐに通い始めるのではなく、見学や事前相談も行っています。

Q: どんどころ？

A: 鬼っ子広場は、不登校や集団にうまく適応できない小・中学校の児童生徒の社会的自立を目指して、学習支援などを行う場で、登別市富士町にある登別市民会館の中にあります。一人ひとりに合った学習を行うため、個別での学習を基本としています。



Q: 開設している時間はいつですか？

A: 月曜日から金曜日の午前9:30～11:30に開設しています。午前中、50分間の学習を2コマ、休憩時間をはさんで行います。状況に応じて午後の時間帯も可能です。一人当たり週1回の学習機会を確保できるようにしています。



Q: 通級した日は登校日数にカウントできるの？

A: 鬼っ子広場に通級した日は、登校日数にカウントできることを校長先生に確認しています。

<相談から通級までの流れ>

- ① 保護者から学校（担任・管理職）へ鬼っ子広場への通級について相談する。
- ② 学校から教育委員会へ連絡し、教育委員会の専門員が保護者へ面談日の設定について電話で連絡する。
- ③ 保護者と面談日を決定し、教育委員会にて専門員が保護者とお子さんと面談を行う。（鬼っ子広場についての説明や、お子さんの現状についてなど）
- ④ 専門員から学校へ面談した内容を連絡する。また、通級を希望する場合は、保護者から学校に通級申込書を提出する。

